

# 業務用キャベツの品種選定

農業試験場 副主査研究員 橋本真明

近年、全国的に業務・加工用野菜の需要が高まっており、和歌山県でも「和歌山県野菜振興計画」において業務用野菜の栽培面積増加を掲げている。県内では11月～3月の業務用キャベツの出荷は行われているが、4月、5月の出荷はほとんどされておらず、市場からは長期的な出荷を求められている。

そこで、本研究では県内において4月、5月出荷に適した品種を検討した。

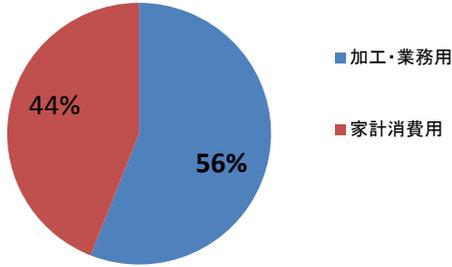


図1 加工・業務用および家計消費用の国内仕向け量(H22) 出荷される野菜の半分以上を加工・業務用出荷が占める



業務用出荷に適した寒玉キャベツ (球が締まっており、芯が小さい)

## 試験1 4月どり品種の選定

### 供試品種

青龍345、冬ぐり、夢ごろも、冬のぼり

### 播種日

平成29年8月21日、8月28日、9月4日

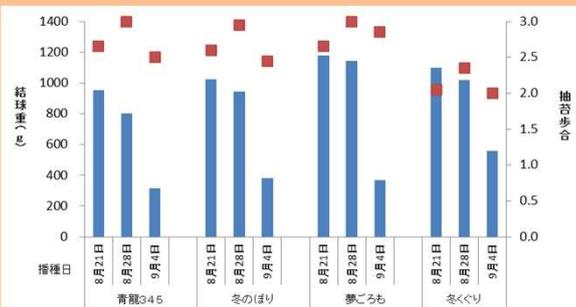


図2 4月どり品種調査結果

- 播種日が遅くなるほど結球重が小さくなった
- 結球重は「夢ごろも」>「冬のぼり」>「冬ぐり」>「青龍345」の順であった
- 冬ぐりは抽苔歩合が小さかった

## 試験2 5月どり品種の選定

### 供試品種

さつき王、YR春空、かおるだま、YR五月っ子、さつき女王、YR天空

### 播種日

平成29年10月3日、10月10日、10月17日



図3 5月どり品種調査結果

- 播種日が遅くなるほど収穫日が遅くなった
- 結球重は「YR天空」>「さつき女王」>「YR五月っ子」>「YR春空」>「さつき王」>「かおるだま」の順であった(10月3日播種)

## まとめ

- 4月収穫品種は結球重が大きく、抽苔歩合が小さい「冬ぐり」と、結球重が大きく、現場に導入されていない「冬のぼり」の2品種が有望であると考えられる。
- 5月収穫品種は結球重が大きく、5月中旬から収穫が可能な「YR五月っ子」と、結球重が大きく、5月下旬から収穫が可能な「さつき女王」の2品種が有望であると考えられる。
- 今後は選定した品種ごとの最適な栽植密度などについて検討をすすめる。